

2月23日

嘉手納基地 繰り返す外来機飛来・訓練

騒音被害 あります

米軍嘉手納基地への
外来機の飛来・訓練が
繰り返され、騒音被害
が増加していることし
て、同基地が所在する
沖縄県沖縄市、嘉手納
町、北谷（ちゃたん）
町でつくる「嘉手納飛
行場に関する三市町連
絡協議会」（三連協）は
9日、米空軍第18航空
団や沖縄防衛局などを
訪れ、抗議しました。

V22オスプレイやF35
三連協によるC

Bステルス戦闘機など
外来機の飛来が多数確
認されているほか、巡
回配備されているF-22
ステルス戦闘機が同基
地へ飛来して以降、常
駐機や外来機が住宅上
空を繰り返し飛行する
運用が繰り返されてい
るといいます。

基地周辺の各地域で
は、会話がほとんど不
可能とされる100分
を超える騒音が何度も
発生し、1月30日には
北谷町で117・9dB
の騒音を記録。202
年11月～23年1月ま
での1カ月当たりの平
均騒音発生回数は、22
年10月と比べ嘉手納町
で約1・9倍、沖縄市
で約1・5倍、北谷町
で約1・5倍となり、
住民からの苦情が
多く寄せられています。

三連協は、同基地へ
の外来機の飛来・運用
を行わないこと、学校
や病院を含む人口密集
地上空の飛行や夜間・
早朝の飛行を行わない
ことなどを求めました。
また、窃盗や建造物
侵入など相次ぐ米空軍
兵の犯罪への抗議のほ
か、同基地の防護（ぼ
うせ）整備格納庫の
移設計画の即時撤回も
要請しました。